

農林水産省策定  
「みどり戦略」

実現を目指して  
9名の専門家が  
熱いトークを繰り広げる

人類の未来のために、  
あなたができること...

知ることから、始めてみませんか？

# 食・環境・農業

沈黙の春 62 年後の現実

トークセッション in ウィルあいち



ベストセラー「里山資本主義」著者

基調講演 日本総研主席研究員  
藻谷浩介氏講演  
「有機農産物を取り巻く状況」

総合司会

重盛啓之 CBC  
アナウンサー



5月25日(土)

開場  
12:00

開演 13:00 終演 16:10

ウィルあいち

愛知県女性総合センター 4F ウィルホール  
〒461-0016 愛知県名古屋市中区上野之原1番地

定員800名

参加  
無料

事前申込制

龍の瞳 3合  
プレゼント  
(中学生以上全員)



スマホから  
お申し込み

まずは知ることから始めてみませんか？

食と環境、農業が注目されています。

それほど現実が厳しくなっていて、多くの方に心配する気持ちが広がっているのです。

アメリカで農薬の危険性を告発した「沈黙の春」が出版されて62年経ちましたが、世界的に虫が減少するなど、未来の子ども達のために、今を生きる人たちが明るい未来はないと思います。トークセッションを中心に、歌あり、クイズあり、お土産付きの企画にあなたも知り合いを誘っていただいてご参加ください。

前半

13:00 開演・挨拶  
13:10 藻谷浩介氏講演  
「有機農産物を取り巻く現状」  
14:35 トークセッション

後半

14:55 パネルディスカッション  
15:30 歌 クイズ  
16:10 まとめ・閉演  
※プログラム変更の場合がございます





## 藻谷 浩介 もたにこうすけ 講師

日本総合研究所 主席研究員

●山口県生まれの59歳。(株)日本政策投資銀行地域調査部 特任顧問(非常勤)、NPO法人「日本に健全な森をつくり直す委員会」副委員長ほか、多数の役職に就任。平成合併前の全3,200市町村、海外119ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興、コロナ対応などに関して研究・著作・講演を行う。



## 高井ちはる たかいちはる

Rela 鍼灸接骨院代表 / 国際中医薬膳師

●オリジナル薬膳ブランド「CHI\_HARU」をプロデュース。食生活からの美容と健康法、薬膳講座等を行っている。「社会問題をクリエイティブに解決する」をコンセプトに、イベント企画等、幅広く活躍中。



## 飯尾 歩 いいお あゆみ

中日新聞論説委員

●1985年 中日新聞入社。現在、中日新聞論説委員。社説とコラムを執筆。環境、農業、原発問題を主に担当。至学館高校の校歌「夢追人」を作詞・作曲。CDが発売され、売上の一部は「夢追奨学金」として震災遺児を支援している。



## 山田 貴文 やまだ たかふみ

養蜂家

●1978年岐阜県生まれ。26歳頃、趣味で養蜂を開始し養蜂の魅力の虜になる。その後、養蜂家として起業。蜂蜜を絞りたい方に蜜蜂を届ける【種蜂屋】として蜜蜂の育成及び販売を行っている。ミツバチがネオニコチノイドによる大きな被害に遭い、解決する中で農業の負の部分を実感し啓蒙活動に取り組んでいる。



## 山内 晴雄 やまうち はるお

NPO法人祖父江のホタルを守る会 理事長

●現職中は、いじめ・不登校・児童虐待対応など青少年問題を中心に奔走。年退職後15年、念願であった、生きものと自然環境を学び考える活動に取り組んでいる。愛知県および稲沢市の社会教育委員、青少年育成や環境保全等の観点からこれからの地域づくり・人づくりのあり方を提唱している。1947.3生まれ(75才)



## 益田 大輔 ますだ だいすけ

須田病院 精神科医長 / 社会復帰研究会 副会長

●1974年、福岡県で生まれる。愛媛大学医学部卒業後、岐阜大学病院精神科に勤務、2001年から高山赤十字病院心療内科、2005年から特定医療法人人生仁会須田病院にて勤務し食べ物と精神の関連について研究。現在、高山市議会議員でもある。



## 与嶋 靖智 よしまやすのり

飛騨高山よしま農園 代表

●1974年高山市でサラリーマンの父で兼業農家の長男として生まれる。情熱ある祖父(故)の自然農法に取り組み姿を見ながら成長したのが農業への原動力。九州東海大学農学部卒業後、「農業は理論よりも現場の実践が第一」と考え就農。現在、飛騨高山よしま農園経営。農業改良普及員資格、学芸員資格等取得。



## 吉野 隆子 よしの たかこ

オーガニックファーマーズ名古屋代表

●オアシス 21 オーガニックファーマーズ朝市村長。NPO法人全国有機農業推進協議会理事、あいち有機農業推進ネットワーク役員、東海農政局有機農業推進委員会委員。2016年、オアシス 21 オーガニックファーマーズ朝市村が日本農業賞「食の架け橋の部」大賞を受賞。共著に『本来農業宣言』(コモンズ)など。



## 長橋 有三 ながはしゅうぞう

キングスワークショップ 代表

●1960年一宮市生まれ。大学卒業後建築業に従事。2011年飼育犬の社会化施設を開園し、その後、無農薬・無肥料の自然栽培農園を設立すべく、2015年新規就農。人にも犬にも優しいドックラン施設を併設した。市民農園を開設すべく耕作放棄地を開墾して、市民に食の安全性や農業体験の場を提供している。



## 今井 隆 いまい たかし

株式会社龍の瞳 代表取締役 実行委員長

●1955年下呂市生まれ。農林水産省に入省し、統計情報業務を遂行。44歳で「龍の瞳」原種を発見し、51歳で退職、起業する。安全で美味しい米づくりを追求して、米コンテストで龍の瞳生産者が多数賞歴している。現在、地域の活性化のために行動を起こしている。お酒の雑誌「たる」、お米の業界紙「商経アドバイス」に執筆中。

### 知ることから始めてみませんか? 食・環境・農業 沈黙の春62年後の現実トークセッション

日時 5月25日(土) 2024年 開場 12:00  
13:00~16:15

定員 800名 参加無料 | 中学生以上参加者全員  
龍の瞳3合プレゼント

申込 事前申込制 | 運営事務局(株)龍の瞳(担当坂本)  
TEL 0576-74-1191

場所 ウィルあいち 4階  
ウィルホール  
愛知県名古屋市東区上笠杉町1番地



- 地下鉄名城線「名古屋城」駅 2番出口より東へ徒歩約8分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約6分



- 基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約8分
- 市バス幹線駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分

### ▼かんたんスマホ申込 ▼お申込み用紙FAX 0576-54-1836

知ることから始めてみませんか? 食・環境・農業 沈黙の春62年後の現実トークセッションinウィルあいち FAXお申込み票



お名前(代表者)	所属団体(任意)	メールアドレス(任意)
参加人数(代表者含む)	電話番号(任意)/FAX番号	ご住所(任意)
名		